

今年も元気に「走り初め」



2キロコースのスタートの様子。スタートダッシュする人もいれば、ゆっくりスタートする人も

2007年の元旦、名和神社前を発着点に、恒例の「元旦マラソン」が行われました。

天候にも恵まれ、家族連れなど100人近い参加者が集まりました。開会式の前に、そろつて名和神社に参拝。宮司さんから、今年1年、元気で走れるようになるとおはらいを受けました。

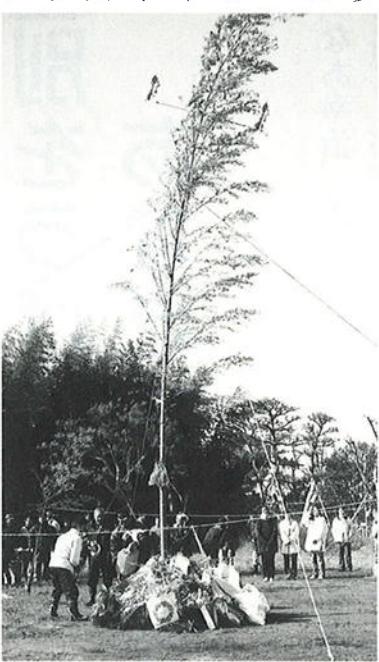
その後、2キロと6キロのコースに分かれ、走り初めをしました。全力疾走するランナーがいるかと思えば、仲良くジョギングしている親子連れもあり、それぞれのランを楽しみました。

無病息災を願うとんどさん

新春行事の「とんどさん」が町内各部落で行われました。新坪田部落のとんどさんは、1月8日の成人の日に、建設中の名和小学校グラウンドで行われました。グラウンドは今年3月末までには整備をされるため、この場所では最初で最後のとんどさんとなりました。

火。もちやスルメなどを火にあぶつたり、お神酒をいただいたりしながら新年のあいさつを交わす姿が多く見られました。

「つまでも大事にしていきたい行事です」と話していました。



点火を見守る新坪田部落のみなさん

消防出初式

大山町消防団消防出初式が1月7日（日）、名和農業者トレーニングセンターで行われました。

団員は、團長訓辞、町長式辞、来賓祝辞を受けた後、分団ごとに行進し、勇姿を披露。

当日、強風のため一斉放水は行われませんでしたが、式に出席した団員たちは防災への使命をあらためて確認し、決意を新たにしていました。



古典の世界にふれる



百人一首の札を真剣に見つめる参加者

1月21日（日）、図書館主催で「古典入門～家族で百人一首に親しむ会」が、生活想像館で行われました。講師は国文学研究資料館の伊藤鉄也さん。外国で日本文化を学ぶ人たちの様子をビデオなどで紹介されました。また、百人一首の実演を行なながら、「む・す・め・ふ・さ・ほ・せ」という『きまり字』（これらの文字から始まる句がそれぞれ1句しかないため、その句を覚えることで相手よりも早く札を取ることができる）を教えました。

講演後は、参加した子どもたちが百人一首カルタとりをして楽しみました。

1月21日（日）、図書館主催で

「古典入門～家族で百人一首に親しむ会」が、生活想像館で行われました。講師は国文学研究資料館の伊藤鉄也さん。外国で日本文化を学ぶ人たちの様子をビデオなどで紹介されました。また、百人一首の実演を行なながら、「む・す・め・ふ・さ・ほ・せ」という『きまり字』（これらの文字から始まる句がそれぞれ1句しかないため、その句を覚えることで相手よりも早く札を取ることができる）を教えました。

講演後は、参加した子どもたちが百人一首カルタとりをして楽しみました。